

平成 15 年 8 月 6 日

国際特別シンポジウム  
真の循環型社会の実現に向けて  
～カナダ・ノバスコシア州の資源管理戦略に学ぶ～



8 月 6 日カナダ大使館でカナダ大使館と環境総合研究所共催のシンポジウムに参加した。ノバスコシア州の 5 年間に廃棄物を 50%削減した成功例報告を中心としたシンポジウムであった。その成功の背景には、住民中心のスコットランド魂（スチュワードシップ (Stewardship)）と脱焼却、脱埋立ての立法化があった。わが国は世界的に有名な焼却炉天国であるが、ダイオキシン問題や地球温暖化問題を考えるときノバスコシア州の成功例を参考にすべきと思う。そのためには産業界のスチュワードシップも大切であるが、それ以上に国民のスチュワードシップの大切さを再認識した。日本は観客民主主義と揶揄されているが国民一人一人が評論家的行動ではなく、自己責任を自覚した行動が日本の将来ために必要であることを痛感した。